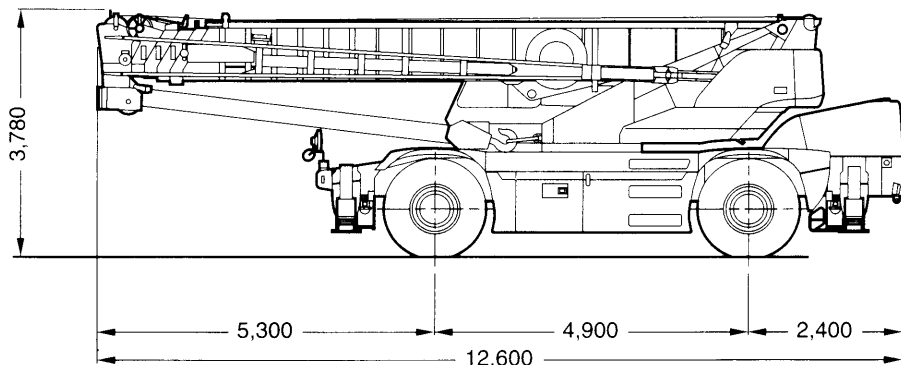


■全体図(単位mm) ($\frac{1}{120}$)

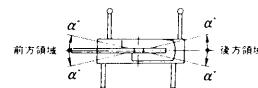


【定格総荷重表注意事項】

■アウトリガ使用時

- 1) 定格総荷重表は水平堅土において機体を水平に設置した状態での保証できる最大荷重を示しておりフックその他のつり具等の重量を含んだ値です。
 □部分は機械の強度によって定められ、他は機体の安定度によって定められています。

フックの種類	50トン	22.5トン	4.5トン
重量	420kg	270kg	120kg
- 2) 作業半径はブームのたわみを含んだ実際の値にもとづいていますので必ず作業半径を基準として作業を行ってください。
- 3) ジブの作業半径は39.0mブームにジブを装着して作業を行った値を示し他のブーム長さでのジブ作業はブーム角度だけを基準として行ってください。
- 4) アウトリガ張出状態によって側方域でのつり上性能は異なります。従って各々の張出状態における定格総荷重表で作業を行ってください。前方、後方域でのつり上性能はアウトリガ最大張出の定格総荷重で作業を行ってください。



アウトリガ張出状態	中間張出 (6.4m)	中間張出 (5.4m)	中間張出 (4.3m)	最終小張出
領域 α'	30	30	15	3

- 5) ルーススチープの定格総荷重表は、ブームの定格総荷重よりブームに取り付けられているつり具等の重量を差引いたものとし、かつ限度を4,500kgとします。
- 6) ブームの長さが規定の長さをこえる場合には規定の長さか、一段上のブーム長さかのいずれか、小さい方の定格総荷重で作業を行ってください。
- 7) ジブを装着したままでブーム作業を行う場合は定格総荷重より、つり具等の重量の他に2,600kgを差引いてください。なおこの場合、ルーススチープは使用しないでください。
- 8) 各々の作業状態におけるブーム危険角度は表のとおりです。ブームを危険角度以下にしますと無負荷でも転倒しますので充分注意してください。
- 9) 各ブーム長さに対する標準フック巻掛本数は下表のとおりです。ただし標準フック以外の掛数で使用する場合は、ワイヤロープ1本当たり4,250kgを限度としてください。

ブーム長さ	10.4m	17.55m	24.7m	31.85-39.0m	ジブ用スチープ
巻掛本数	12	7	5	4	1

- 10) ジブ使用時、ジブオフセット角度が規定の角度をこえる場合には規定の角度より一段大きいジブオフセット角度の定格総荷重で作業を行ってください。
- 11) 自由降下作業は原則としてフックのみを降下するときに使用しますが、やむをえずつり荷を自由降下する場合には定格総荷重の20%までを限度とし急激なブレーキ操作は絶対にさけてください。
- 12) 定格総荷重表は風による影響を含んでいません。瞬間風速が10m/secをこえる場合は作業を中止してください。
- 13) 定格総荷重をこえる作業を行った場合、及び正しい使い方を行わなかった場合は転倒又は破損します。この場合本機の保証はいたしません。

